

新考古覧

岡谷市史編さん室だより『しんこくしん新考古覧』No. 39
2026(令和8)年 5月

岡谷市教育委員会生涯学習課
岡谷市史編さん室 編集・発行
岡谷市中央町1-11-1 イルプラザ3F
TEL 0266-78-8455



WEBはこちら

新考古覧：古い事柄を顧みて、新しい問題を考察すること

～岡谷の歴史を深く思い、岡谷の今を重ね、岡谷の未来が拓けるような新しい市史をめざして～

シリーズ岡谷市史下巻以降のおもなできごと⑮ 消防

広報誌などから岡谷市史下巻（昭和57年刊行）以降の岡谷市政を中心に、テーマを設けてシリーズとして拾っています。今回は「消防」です。

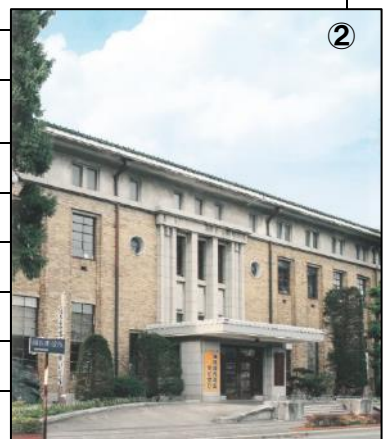
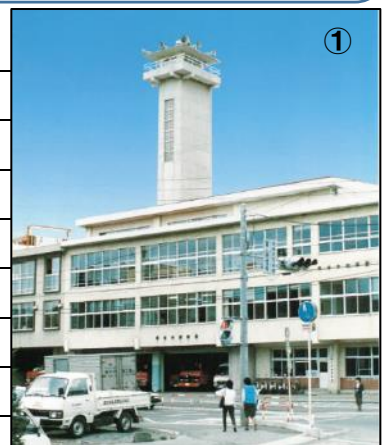
私たちの暮らしを守る消防には、消防署と消防団があります

消防署 → 常勤の職員が常時消防業務に従事。消防本部、消防署は諏訪広域連合の組織となる。

消防団 → 日ごろは各々の職業に専念し、災害時等には消防団員として対応に当たる。岡谷市の非常勤特別職の地方公務員。岡谷市直轄

消防に関わる主な出来事（広報おかや・消防年報令和7年度版等より）

西暦	和暦	月	出来事
1965	昭和 40	8	市消防署・議事堂併設庁舎完成 写真①(市消防団提供)
1986	昭和 61	2	市消防団に日本消防協会から「金まとい」が贈られる 写真⑥
1987	昭和 62	5	市消防本部・消防署が旧市庁舎に移転 写真②(市消防団提供)
1991	平成 3	7	長地地区の消防緊急専用電話が 119 番となり市内統一される
1999	平成 11	4	諏訪広域消防本部が発足
2000	平成 12	7	諏訪広域連合諏訪広域消防本部となる
2004	平成 16	11	新潟中越地震時の緊急消防援助隊の活動に対し総務大臣感謝状、消防庁長官表彰を受ける
2006	平成 18	7	岡谷市にて土石流災害が発生し対応にあたる
2011	平成 23	11	東日本大震災時の緊急消防援助隊の活動に対し総務大臣表彰、全国消防長会表彰が授与される
2011	平成 23	8	岡谷市消防団統合 50 周年・消防音楽隊結成 30 周年記念式典
2014	平成 26	9	御嶽山噴火災害に対し長野県相互応援隊として 30 隊のべ 124 名を派遣
2014	平成 26	10	諏訪広域消防本部・岡谷消防署庁舎竣工 写真③(消防本部提供)
2015	平成 27	4	諏訪広域消防本部一元化、高機能消防指令センター等運用開始 写真④(同上)
2024	令和 6	1	能登半島地震に対し長野県緊急消防援助隊として 14 隊のべ 60 名を派遣
2026	令和 8	4	消防本部に「拠点機能形成車」を配備 写真⑤



平成11年「諏訪広域消防本部」が発足

■平成11年4月1日、岡谷市、諏訪市、下諏訪町、諏訪南行政事務組合（茅野市、富士見町、原村）の2市1町1組合の消防事務を諏訪広域行政組合で共同処理することとし、**諏訪広域消防本部が発足しました。**

■その後、平成12年7月の諏訪広域連合の発足とともに**諏訪広域連合諏訪広域消防本部**となりました。

■さらに、消防体制の充実強化を図り、将来にわたり諏訪地域住民の安全・安心を確保することを目的として、消防本部体制の真の一元化が進められ、平成27年4月、**消防本部、6消防署、2分署による新体制がスタートしました。**（諏訪広域連合HPより）

[写真③](#): 現諏訪広域消防本部・岡谷消防署 [写真③](#)



平成27年「諏訪広域消防本部」が新体制になり指揮系統等が一元化

諏訪広域消防本部では、平成27年度より諏訪圏域6市町村からの119番通報に対応するため最新の通信指令システム及びデジタル無線設備を整備し、圏域住民の安全・安心を支える高度な消防体制が確立されました。

- 効果的な部隊編成
- 到着時間の短縮
- 大規模災害への対応
- 現場活動支援の強化

迅速に災害点を特定
通報者の発信位置情報を瞬時に大型モニターに表示

全車両の状況を把握

全体で最大8回線の
緊急通報の受付が可能

年間1万5千件超の緊急通報を受報！

写真④：消防指令センター



高機能消防指令センター

④

令和8年「拠点機能形成車」を配備

県内で初となる「拠点機能形成車」が、諏訪広域消防本部に配備されました。総務省消防庁から無償貸与されている車両で、大規模災害時に緊急消防援助隊として出動し、荷室の拡張機能や大型テント、組み立て式シャワーなどの資機材を活用し、現地指揮本部や宿営等の活動拠点として隊員の活動を支えます。

写真⑤：拠点機能形成車：(長野日报社提供)



⑤



⑥

昭和61年 岡谷市消防団が最高の栄誉「金まとい」を授与される

岡谷市消防団は、消防団表彰の中で最高の賞といわれる特別表彰を受け、日本消防団から「金まとい」を授与されました。岡谷市消防団はこれまでに3回全国消防ポンプ操法大会に出場、消防の原点である高度な操法技術を習得しているほか、日本消防協会の各種事業に積極的に協力したことなど、その団体活動が高く評価されたのです。

この金まといは表面が全て金箔と銀箔で造られており、高さも2mもある立派なものです。

(出典：「郷土のまもり」岡谷市消防団統合50周年記念誌編集委員会 H23 発行 p122)

写真⑥：岡谷消防署ロビーで今も輝く「金まとい」 (R8 市史編さん室撮影)

子どもたちが描いた屯所のシャッター絵

岡谷市には、消防団本部の他11の消防分団があり、多くの屯所のシャッターは子どもたちの絵で飾られています。写真は東堀区にある第11分団の屯所です。平成20年に当時の長地小学校の5年生が描きました。消防団は、災害時には地元を知る強味を生かした対応を行います。また、どんど焼きでの警備や防災訓練での支援など地域を大切に火災予防活動を行い、私たちの日々の生活を守ってくれています。

(R8 市史編さん室撮影)



《お知らせ》

岡谷市史編さんの委託業者が、(株)ぎょうせい関東支社に決定しました！

公募型プロポーザル方式により業者を募集、選定委員会での選考を経て、先月(株)ぎょうせい関東支社と契約を締結いたしました。令和12年の発行へ向けて実質的な編さん作業がスタートしました。

(担当：市史編さん室専門職員 櫻井洋)